

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月



2024年6月7日作成



富士産業株式会社

目次

1.会社概要	1
2.環境経営方針	2
3.実施体制	3
4.環境経営目標	4
5.環境経営計画	5
6.取組結果と次年度取組	6
7.環境関連法規への違反訴訟等の有無	7
8.代表者による取組状況の評価と見直し	8
・ 指示の結果	

1. 会社概要



会社概要

社名 富士産業株式会社
代表者 代表取締役社長 田村 稔
所在地 本社 山口県山陽小野田市稻荷町10-23
TEL 0836-81-1222 FAX 0836-81-1555
URL <http://www.fuji-ind.co.jp/>
営業所 宇部営業所
山口県宇部市大字東須恵字波多野開作辛ノ割3840-1
下関営業所
山口県下関市長府扇町5番地44
設立 昭和41年8月8日
資本金 2,000万円
従業員 32名
売上高 3,274百万円（2023年度）

事業内容

- ・一般住宅、店舗、公共施設、工場の建築設計・施工
- ・産業機械、空調設備、電気設備の施工・メンテナンス
- ・エレベーター、エスカレーターの施工・メンテナンス
- ・日立製品の取り扱い 日立特約店

認証登録

認証・登録範囲 全組織・全活動

基本理念

弊社は創業以来、常にお客様と時代のニーズにお応えできるよう経営理念の「ONLY ONE」の精神で邁進し、「地域社会から信頼される企業」を目指しています。昨今の環境社会情勢の劇的な変化に伴いこの度、環境問題に取組み地域社会の貢献すべく注力して参ります。

行動指針

弊社はお客様満足、パートナー満足、地域社会との調和を目指す中で特に環境問題へ配慮して、社員一丸となってエコアクション21環境経営を理解して改善に努めます。以下の環境への取組内容について推進します。

- 1.環境取組目標を定め、見直し、継続的な改善に努めます。
- 2.環境関連法規制を理解して遵守します。
- 3.環境への取組を次のとおり実施します。
 - ①省エネルギーを推進して地球温暖化防止に努めます。
 - ②ゴミ排出量の削減に取り組みます。
 - ③水の使用削減に取り組みます。

地域社会に環境経営レポートを公表し、環境保全に関する情報の提供と共有に努めます。

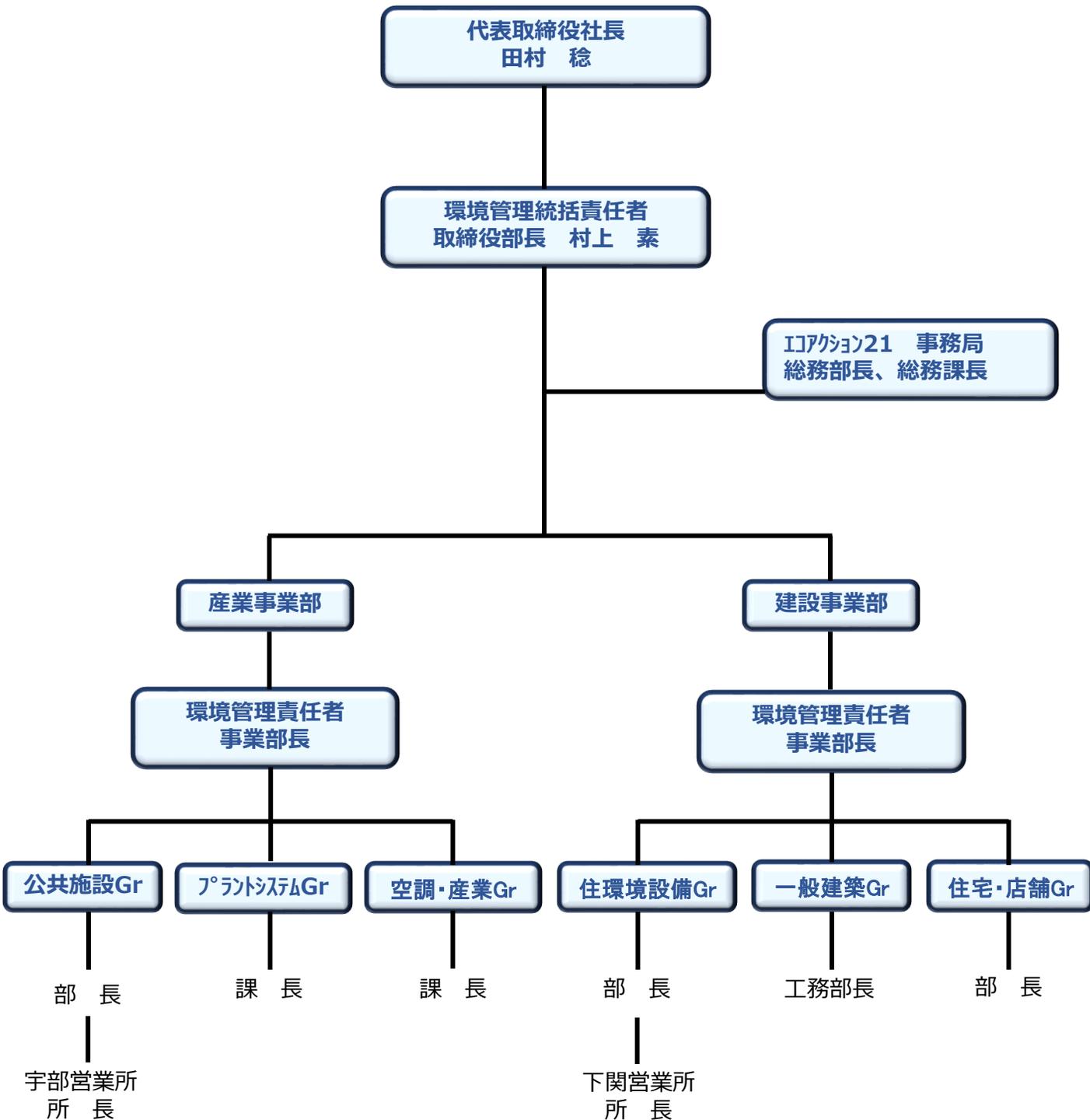
この環境方針は社員全員に周知すると共に、広く一般へ公開します。

富士産業株式会社
代表取締役社長 田村 稔
2022年12月31日 制定

3. 実施体制



エコアクション21組織図



役 職	役割、責任、権限
代表取締役	環境方針の設定、全体の統括、全体の評価と見直しをする。
環境管理統括責任者	環境管理責任者を統括して、環境問題への取組を運用、構築を指示する。エコアクション21全般を統括する。
環境管理責任者	各担当グループ長として現場での運用を指示する。
エコアクション21事務局	各担当グループの運用補助、エコアクション21関連データの把握、文章類の作成及び維持、管理を行う。

4. 環境経営目標

環境経営目標 中長期目標

項目	単位	2022年度	2023年			2024年度	2025年度	2026年度
		実績値 (基準値)	目標値	実績値 (目標値比)	達成 評価	実績値 (基準値比)	目標値 (基準値比)	目標値 (基準値比)
二酸化炭素 総排出量	Kg- CO ₂	11,512	11,397	10,604 ▲93.0%	○	11,282	11,167	11,052
電力使用量 (現場)	kWh	4,811	4,763	7,050 △148.0%	×	4,715	4,667	4,619
ガソリン 使用量 (現場)	L	2,337	2,314	1,401 ▲60.5%	◎	2,290	2,267	2,244
軽油使用量 (現場)	L	1,379	1,365	1,383 △101.3%	△	1,351	1,338	1,324
灯油使用量 (現場)	L	10	10	0 -%	◎	10	10	10
一般廃棄物の削減 (事務所)	kg	-	-	839.3 -%	-	831	823	814
産業廃棄物のリサイクル率 (現場)	%	43.8	44.2	49.8 △112.6%	◎	44.7	45.2	45.5
水使用量 (現場)	m ³	35	35	48 △137.1%	×	34	34	34

判定： ◎：削減・増加率10%超 ○：10%以下～0%以上
 △：0%未満～10%増・減 ×：10%超・増・減

※電力使用量はビル内の事務所を賃借してしており個別のメーターを設けていないので現場のみとする

※ 調整後二酸化炭素排出係数には中国電力の2022年度調整後排出係数 0.537kg-CO₂/kWhを使用した

※ 化学物質の使用はないので目標に掲げていない

5. 環境経営計画

2023年度 環境経営計画

環境経営目標	環境経営計画	責任者	実行スケジュール
二酸化炭素総排出量	以下の計画を遂行する	—	—
電気使用量 (本社・営業所・現場)	冷暖房温度の徹底管理	江嶋	通年 ←→
	エアコンフィルターの定期的な清掃	江嶋	通年 ←→
	残業時の不要な照明の消灯	江嶋	通年 ←→
ガソリン 軽油使用量 (現場)	省エネ運転の励行	村上	通年 ←→
	不要荷物の積み込み禁止	村上	通年 ←→
灯油使用量 (現場)	事務所を離れる場合はこまめに消す	藤井	冬季 ←→
一般廃棄物の削減 (本社)	ペーパーレスにより紙ゴミの削減	江嶋	通年 ←→
産業廃棄物の削減 (現場)	分別による混合廃棄物を削減	江嶋	通年 ←→
水の使用削減 (本社・現場)	節水シールによる呼びかけ	藤井	通年 ←→

6. 取組結果と次年度取組



2023年度 環境経営活動計画の取組結果 と次年度の取組内容

環境経営目標	活動項目	環境経営計画取組結果	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素総排出量	総合評価	現場の規模によって電力量、燃料は左右されるので比較が難しいが引き続き取り組む。	○	継続して実施する
	冷暖房温度の徹底管理	生産性も考慮して夏は24～26℃、冬は22℃～23℃に設定している。	△	継続して実施する
電気使用量 (本社・営業所・現場)	エアコンフィルターの定期的な清掃	定期的にフィルター清掃をしている。	○	継続して実施する
	残業時の不要な照明の消灯	帰宅時に必要でない所は消灯している。	○	継続して実施する
ガソリン軽油使用量 (現場)	省エネ運転の励行	トラックはアイドリングストップしている。急発進、急停車に気を付けている。	○	継続して実施する
	不要荷物の積み込み禁止	随時荷物は倉庫に保管して、積みっぱなしにならないようにしている。	○	継続して実施する
灯油使用量 (現場)	事務所を離れる場合はこまめに消す	冬もエアコンを使用している為、灯油の使用がなかった。	○	継続して実施する
一般廃棄物の削減 (本社)	ペーパーレスによる紙ゴミの削減	システムを導入してペーパーレスにしているので紙ゴミは減少している。	○	継続して実施する
産業廃棄物の削減 (現場)	分別による混合廃棄物を削減	現場の産業廃棄物置き場で出来るだけ分別している。工事内容でリサイクル割合が上昇した。	○	継続して実施する
水の使用の削減 (本社・現場)	節水シールによる呼びかけ	現場に節水シールを配っている。	○	継続して実施する

7. 環境関連法規への違反 訴訟等の有無



廃棄物処理法、大気汚染防止法、フロン排出抑制法などの環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 大気汚染防止法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法

なお、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

8. 代表者による取組状況の 評価と見直し・指示の結果



評価及び見直しの実施年月日		2024年5月24日
評価者名（代表者名）		代表取締役社長 田村 稔
評価及び見直しに参加した人		村上素 江嶋裕司
評 価	環境経営システムが有効に機能しているか	名刺やホームページにエコアクション21認証取得会社として記載しました。しかしながら、取組みについて未だ全社員へは浸透していない状況だと思われます。今後、全社員が本システムを理解し運用出来るよう、朝礼等で随時働き掛けをして参ります。
	環境経営目標の達成状況	二酸化炭素総排出量は目標値を達成できたが、電力使用量や水使用量は未達成となりました。未達成項目については、達成できるよう全社員へ随時働き掛けして参ります。
	環境経営計画の実施及び運用結果	ペーパーレスによる紙ごみの削減や、不要な照明の消灯等については各自意識して実施しています。冷暖房については、熱中症や生産性も考慮して温度設定に幅を持たせて運用しています。
	環境関連法規などの遵守状況	環境関係法規については全社員遵守しており、特に問題はございませんでした。
見直し (変更の必要性)	環境経営方針	変更の必要性なし
	環境経営目標	現場の各数値は、現場箇所の増減により毎年変わってきます。よって、現場の目標数値については、どのように数値目標を立てるのか、今一度検討が必要と思われます。
	環境経営計画	変更の必要性なし
	環境経営システム等 変更の必要性	変更の必要性なし
指示		環境管理統括責任者からも今一度取組内容について社員へ周知する様に指示した。